

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号	NO2024-01
研究課題名	総大腿動脈の治療の現状と臨床成績に関する後ろ向き研究
当院の実施責任者研究 及び職名	静岡赤十字病院 血管外科 部長 新谷 恒弘
他の研究機関および 各施設の研究責任者	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科 及び 心臓血管外科 (他全国 66 施設)
研究期間 (西暦)	研究実施許可日 (倫理審査結果通知書発行日) より西暦 2029 年 2 月 28 日まで
研究の目的	<p>末梢動脈疾患は、足の動脈の閉塞・狭窄による血流障害を起こす疾患です。歩行時の疼痛や足の壊疽が出現します。薬物治療で改善しない場合はカテーテル治療や手術が必要です。近年の道具や技術の進歩により、カテーテルで治療できる範囲は広がりました。しかし、足の付け根に当たる「総大腿動脈」については、1) 石灰化が強く、カテーテルで用いる風船では広がりにくい、2) 外側からの圧迫を受けやすい、屈曲しやすい環境にあるため、カテーテル治療で使用する「ステント」という金属の網との相性が悪いいため、手術治療が第一選択です。しかし、実臨床においてはカテーテル治療が行われる場合もあり、欧米からは、カテーテル治療の効果を示す報告もあります。総大腿動脈における手術治療とカテーテル治療の成績をしっかりと評価し、今後の診療に生かすことはとても重要です。そこで、当院を含む全国の医療機関で、総大腿動脈に治療を受けた患者さんにご協力いただき、総大腿動脈の治療後の経過を把握する研究を行うこととしました。</p> <p>当研究は東京ベイ・浦安市川医療センターを研究主機関とし、全国複数の医療機関で実施されます。当研究データは個人情報保護法を遵守し、匿名化など適切な方法をおこなった上で、国内および国外の他医療機関との共同研究にも使用され、その際には郵送あるいは電子的配信により情報共有を行います。</p>
研究の内容	診療録の情報を閲覧し、必要項目を抽出して調査・解析します。 新たなご協力・ご負担はありません。

<p>個人情報の取扱い</p>	<p>本研究で得られるデータを、当該研究課題の範囲外で使用する可能性、当該研究の研究従事者以外が使用する可能性はない。</p> <p>本研究により得られた匿名化された個人データは当施設では担当責任者新谷が保管する。本研究の終了 5 年後まで保存するが、廃棄にあたっては外部記憶装置に保存された個人データは全て消去し、記録文書やメモ類は全てシュレッダーで粉砕処理する。解析に用いるコンピューターにはデータが漏洩する危険を回避するために適切な対策（最新版のウィルス対策ソフトウェアのインストール）を行う。</p>
<p>問い合わせ先 (拒否等受付窓口)</p>	<p>【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 血管外科 氏名：新谷 恒弘 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311</p>